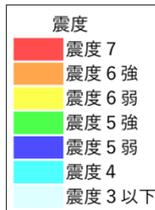


### 1. ハザード評価

#### (1) 地震動

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



<震度別面積割合>  
 (参考) 総面積 = 136.7km<sup>2</sup>

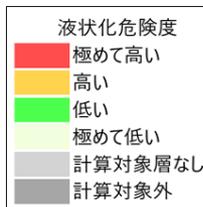
	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合	面積 (km <sup>2</sup> )	割合
7	0.4	1%未満	0.0	0%
6 強	77.0	56%	0.4	1%未満
6 弱	41.1	30%	93.7	69%
5 強	3.9	3%	31.9	23%
5 弱	14.3	11%	10.6	8%

※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

#### (2) 液状化

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



<液状化危険度別面積割合>  
 (参考) 総面積 = 136.7 km<sup>2</sup>

	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km <sup>2</sup> )	割合	面積 (km <sup>2</sup> )	割合
極めて高い	37.7	28%	35.7	26%
高い	5.0	4%	4.6	3%
低い	1.7	1%	2.7	2%
極めて低い	5.4	4%	6.8	5%
計算対象層なし 計算対象外	86.8	64%	86.8	64%

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

### 1. ハザード評価

#### (3) 沿岸最大津波高

L2	L1
3m	3m

#### (4) 沿岸津波到達時間

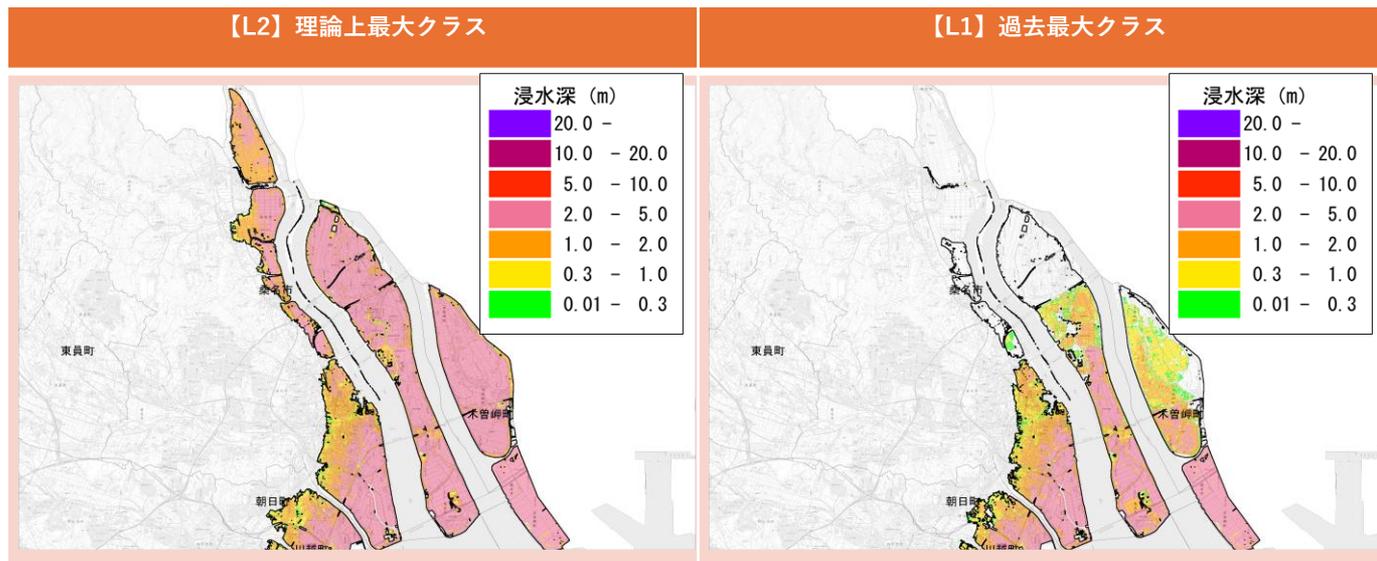
L2	L1
87分	94分

※沿岸で1mの水位変動が発生するまでの最短の時間

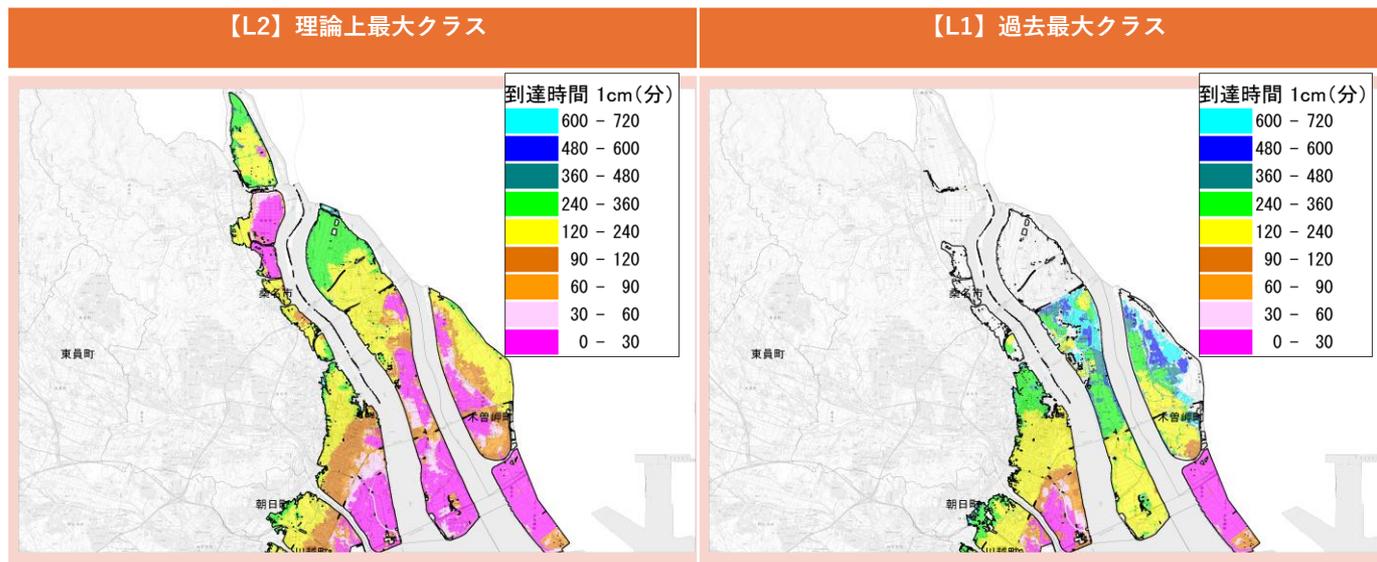
#### (5) 津波浸水面積

L2	L1
3,362ha	1,907ha

#### (6) 津波浸水深



#### (7) 津波浸水深到達時間 ※陸上で1cmの浸水が発生するまでの時間



### 2. リスク評価

#### (1) 人的被害

※L2の死者数は津波ケース⑨の推計結果

※季節・時間帯：冬・深夜

※津波からの早期避難者比率が低い場合

定量評価項目	L2	L1
死者数 (人)	約3,200	約400
うち建物倒壊等	約200	約20
うち津波	約2,900	約400
うち急傾斜地崩壊等	-	-
うち火災	-	-
うちブロック塀 ・自動販売機転倒 および屋外落下物	-	-
重傷者数 (人)	約500	約60
軽傷者数 (人)	約1,800	約500
建物倒壊等による 自力脱出困難者数 (人)	約1,300	約100
津波被害による 要救助者数 (人)	約1,400	約800
津波被害による 要搜索者数 (人)	約3,000	約400

#### (2) 建物被害

※L2の全壊・焼失棟数は津波ケース⑦の推計結果

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
全壊・焼失棟数 (棟)	約12,000	約3,700
うち揺れ	約4,800	約500
うち液状化	約900	約900
うち津波	約5,500	約2,300
うち急傾斜地	約40	約40
うち火災	約500	約10
半壊棟数 (棟)	約16,000	約14,000
うち揺れ	約7,100	約2,700
うち液状化	約2,100	約3,400
うち津波	約6,700	約7,500
うち急傾斜地	約100	約100
ブロック塀等の 転倒数 (件)	約1,100	約300
自動販売機の 転倒数 (件)	約50	約40
屋外落下物の 発生数 (件)	約500	約10

#### (3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
炎上出火件数 (件)	約10	-
残火災件数 (件)	約10	-
津波火災発生件数 (件)	約10	約10

#### 概観 (理論上最大クラス) 【ハザード評価】

地震動では広い範囲で震度6強以上となり、広い範囲で液状化が発生するとともに、海岸堤防が地震時に沈下することで、低い土地では、地震発生直後から津波の浸水が生じます。

#### 【リスク評価】

理論上最大クラスでは、地震発生直後からの浸水や、その後に到達する津波からの逃げ遅れにより死者の9割以上が津波で亡くなり、建物は津波と揺れでそれぞれ市全体の約1割が全壊します。また、液状化の発生によって津波からの避難に影響が生じます。

※「-」：わずか (5未満)

※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。